

宇部工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	英文法 I B	
科目基礎情報							
科目番号	0049			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	機械工学科			対象学年	1		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	「Dual Scope 総合英語」小寺茂明監修(数研出版), 「Dual Scope English Grammar in 27」小寺茂明監修(数研出版), 「Data Base 4500」荻野治雄監修(桐原書店)						
担当教員	南 優次						
到達目標							
基本的な英語の文法力と語彙力を養い、英語運用能力を高めることを目的とする。 (1) 基本的な文法項目や文構造を理解できる。 (2) 基本的な単語と熟語を発音し、書くことができる。 (3) 既習の語彙と文法を用いて、まとまりのある英文を作ることができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		最低限の到達レベルの目安(可)		未到達レベルの目安
評価項目1	基本的な文法項目や文構造を理解し、それらのルールに合わせて修飾語句、単語を応用した文を作ることができる。		基本的な文法項目や文構造を理解し、それらのルールに合わせて単語を入れ替えた文を作ることができる。		基本的な文法項目や文構造を理解し、それらを用いた最小限の文を作ることができる。		基本的な文法項目や文構造を理解し、それらを用いた最小限の文を作ることができない。
評価項目2	1200語程度の基本的な単語、280語程度の熟語を発音し、書くことができる。		1050語程度の基本的な単語、245語程度の熟語を発音し、書くことができる。		900語程度の基本的な単語、210語程度の熟語を発音し、書くことができる。		900語程度の基本的な単語、210語程度の熟語を発音し、書くことができない。
評価項目3	自分の伝えたいことを表現するために既習の語彙と文法、接続語句を用いて、段落構成のあるまとまりのある英文を作ることができる。		自分の伝えたいことを表現するために、既習の語彙と文法に加えて、接続語句を用いて英語で表現することができる。		自分の伝えたいことを表現するために既習の語彙と文法を用いて、英文を作ることができる。		自分の伝えたいことを表現するために既習の語彙と文法を用いて、英文を作ることができない。
学科の到達目標項目との関係							
教育目標 (G)							
教育方法等							
概要	第3学期開講 英文法 I Bは、英語の基本的な文法規則を理解するための講義となる。英文法 I Bでは、英語によるコミュニケーション能力の基礎である発音、文法、語彙について、講義と小テストを実施する。						
授業の進め方・方法	・「Data Base 4500」から指定した範囲で単語テストを行う。 ・10月に実施するGTECに向けて、「ライティング」の対策を行う。 ・必ず英和辞典を携帯し、わからない語句はすぐに調べること(基本的に、テキストに出てくる単語はすべてわかっているという前提で授業を進める)。 ・2年次での英検(準2級)の取得を目指し、授業を進める。						
注意点	中学校の英語学習では、説明されていない英語のルールについて学びます。これまでわからなかったこと、知らなかったことについて、新しい発見と喜びのある英文法の授業になることを期待しています。一方で、英文法の学習は日々の積み重ねです。毎日少しずつでも、英語に触れる時間を作るようにしましょう。						
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	小テスト; Lesson 1・2・3・4・5・6・7			・第1学期で実施した学習事項確認をする	
		2週	Lesson 8: 助動詞(1)			・助動詞will, can, may, mustの意味と用法を理解し、それらを使った簡単な文を作ることができる	
		3週	Lesson 9: 助動詞(2)			・助動詞should, had better, will, mustの意味と用法を理解し、それらを使った簡単な文を作ることができる	
		4週	Lesson 10: 助動詞(3)			・助動詞を使った様々な表現について、意味と用法を理解し、それらを使った簡単な文を作ることができる	
		5週	Lesson 1～10の小テスト及び単語テスト(1)			・第1学期で実施した文の成り立ち、基本3時制、進行形、完了と助動詞の関係を理解し、それらを使った簡単な文を作ることができる。	
		6週	Lesson 1～10の小テスト及び単語テスト(2)			・第1学期で実施した文の成り立ち、基本3時制、進行形、完了と助動詞の関係を理解し、それらを使った簡単な文を作ることができる。	
		7週	Lesson 11: 動詞の態(1)			・受動態の基本的な規則と意味を理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる	
		8週	Lesson 11: 動詞の態(1) 確認テスト及び単語テスト			・受動態の基本的な規則と意味を理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる	
	4thQ	9週	Lesson 12: 動詞の態(2)			・第4文型、第5文型の受動態の規則を理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる	
		10週	Lesson 12: 動詞の態(2) 確認テスト及び単語テスト			・第4文型、第5文型の受動態の規則を理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる	
		11週	Lesson 11・12: 動詞の態の確認及び単語テスト			・第3・4・5文型の受動態の規則を理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる	
		12週	Lesson 13: 不定詞(1)			・不定詞の基本用法を理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる	

		13週	Lesson 1 4 : 不定詞（2）	・不定詞の意味上の主語と原型不定詞の基本的な用法を理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる
		14週	Lesson 1 ～ 1 4 の学習事項の確認及び単語テスト	・第 1 学期で実施した文の成り立ち、基本 3 時制、進行形、完了と助動詞及び不定詞の関係を理解し、それらを使った簡単な文を作ることができる。
		15週	期末テスト	
		16週	試験返却・解答解説 まとめ	試験解説により、間違った箇所を理解し、後期の学習事項のまとめを行う。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標				到達レベル	授業週
評価割合								
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	レポート	合計	
総合評価割合	50	20	0	10	0	20	100	
基礎的能力	50	20	0	10	0	20	100	
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	